

(様式2)

令和4年度 学力向上マニフェスト

学校名 第二峡田小学校

【評価】成果指標の達成度から評定(A・B・C)を決める A:達成度90%以上 → 目標達成と見なし新たな目標を設定する

| 事業名 | 取組の内容及び目標 (昨年度の区学力調査等の結果・分析等を踏まえて) | 予算及び決算 | 成果及び次年度の方向性 | 評価 |
|-----------------------|--|--|---|----|
| 教員の授業力向上を目指した研究・研修の充実 | 【内容】主体的、対話的で深い学びを実現するために、授業力向上を目指して、外部講師による指導・助言を受ける機会を職層や経験年数に応じて設定する。 【目標】教員一人あたり年3回の授業研究を行い、授業力向上を図る。また、学校独自の学力調査において基礎・活用力3%アップをめざす。 | 【予算】 ¥800,000 【決算】 ¥617,356 ・講師謝礼 ¥297,300 ・百人一首短冊 ¥46,178 ・指導用図書(各教科・人権教育) ¥273,878 | ・授業研究の実施及び講師による指導・助言により主体的、対話的で深い学びを展開・実現できるようになった。 ・若手教員を対象とした授業力向上研修や教科担任制を推進し、授業公開して協議会で指導方法について学ぶ機会も確保したことで、教材研究に意欲的に取り組む教員が増えた。 | B |
| あらかわ寺子屋 | 【内容】基礎基本の定着を必要とする児童を対象とする。東京ベーシックドリルやスタディノートを活用した算数個別指導を展開する。低学年は毎週月曜日、高学年は毎週木曜日に実施。 【目標】算数の個別指導を受けることによって全児童が「算数学習の楽しさやわかる喜び」を味わえるようにする。 | 【予算】 ¥248,000 【決算】 ¥163,300 | 全学年を対象にして算数基礎力向上の補習ができた。全教員及び支援補助員による個別指導を展開した。東京ベーシックドリル等を活用して基礎・基本の徹底を図ることができた。 | B |